

令和6年度
菊池市総合計画及び
菊池市まち・ひと・しごと創生
総合戦略評価審議会
答申書

令和6年11月

菊池市総合計画及び
菊池市まち・ひと・しごと創生総合戦略
評価審議会

1. 総評

第3次菊池市総合計画前期基本計画及び第2期菊池市まち・ひと・しごと創生総合戦略の令和5年度の施策について、新型コロナウイルス感染症の5類移行により、観光や交流活動、各種イベント等様々な施策をコロナ禍前の状態に戻しつつあり、中には新たな対面のイベント等の事業を実施しており、概ね順調に進捗している。

特に、人口減少対策（移住定住）の推進においては、各種施策の実施により、一定数の移住者を獲得することができており、「住みたい田舎ベストランキング」にも4部門すべてでランクインするなど、施策の効果が出ていると言える。

一方で、TSMCをはじめとする多くの半導体関連企業の進出により、宅地開発や企業進出の好機が到来しているものの、地下水問題や農地減少等の問題も浮き彫りとなっており、計画に明確な記載はないが、関連する施策の推進も迅速な対応が求められている。

引き続き、今回の評価を通して抽出された課題や意見をこれからの取組の改善や新たな施策の推進に繋げ、よりよい菊池市の発展に寄与されることを期待する。

- デジタル化の推進について、デジタル分野の動向や社会情勢に遅れをとることの無いよう、市で定める「デジタル化推進アクションプラン」に基づき、市民の利便性の向上、事務の効率化や地域社会のデジタル化の取組を進めてもらいたい。
- 関係人口の拡大について、菊池ファンクラブの会員や菊池姓の方へ向け、情報発信にとどまらない一層のアプローチの手法等を検討し取り組んでももらいたい。
- 海外友好都市との交流について、今後控えている台湾の都市との交流促進のより一層の取組と、既存の友好都市との今後の関係の在り方を検討してもらいたい。
- 観光の振興について、コロナ禍があけたことで、営業を再開した旅館もあり、より一層の宿泊客及び観光客の獲得に向けて、ハード含め施策の検討・実施を進めてもらいたい。
- 農業の振興については、新規就農者をはじめとした個別農家それぞれに寄り添った補助金や営農相談の対応を引き続き進めてもらいたい。畜産農家に対しては、資材高騰をはじめとした、様々な要因から来る廃業の波を抑えるべく、あらゆる方面から畜産農家を支える取組を進めてもらいたい。

- 商工業の振興については、新たなビジネス様式の支援や創業支援の施策等を市内の事業者やこれから創業を考える市民に対してわかりやすく正確に伝え、それぞれをよりよく活用してもらえよう推進してもらいたい。
- 安心して子育てできるまちづくりについて、現在の待機児童のない取組を維持しつつ、児童虐待など深刻化する課題への相談体制を強化し、安心して子育てに専念できる取組を進めてもらいたい。
- 健康で豊かに暮らし続けられるまちづくりについては、当計画による取組の結果を受けた今後の時代に沿った施策の検討と、多様化及び複合化する相談内容への対応を引き続き進めてもらいたい。
- 環境保護・保全問題の推進について、地下水のモニタリング調査を踏まえ、市民が安心して地下水を使用できるよう、引き続きの調査及び問題に対応する施策を実施してもらいたい。
- 魅力あるまちなか整備について、既存の市民を巻き込んだ施策の推進に加え、景観整備につながるハードも含めた新たな施策の検討を進めてもらいたい。
- 公共交通について、ここ数年続いている利用者の減少を考慮し、既存のべんりカーやあいのりタクシーの利用促進につながる施策や新たなモビリティの検討、またT SMCの影響など、広域的な視点を踏まえた計画の策定を期待する。
- 学校教育の充実について、昨年から学力の数値について向上は見られるものの全国的に見るといまだ低い状況にあるため、当計画による成果を感じられる地域学校協働活動やSDGs 関連の学習、プラチナ人財育成等の取組を活かし学力向上につながる施策の検討を進めてもらいたい。

2. 菊池市総合計画及び菊池市まち・ひと・しごと創生総合戦略評価審議会名簿

※当審議会は、下記の10名（学識経験者1名、各種団体等9名）で構成

役職	氏名	備考
会長	上野 眞也	熊本大学
委員	笠 愛一郎	菊池市商工会
委員	佐藤 由紀	菊池観光協会
委員	糸岡 しげ子	菊池地域農業協同組合
委員	錦戸 亨	熊本県北広域本部
委員	谷 和彦	肥後銀行菊池支店
委員	角田 友和	連合熊本菊池阿蘇地域協議会
委員	森 智保美	菊池市前教育委員
委員	加來 留	菊池市社会福祉協議会
委員	古津 理恵	菊池市子ども会育成協議会